

こ ん に ち は、 小 川 あ き ら で す。

き ら き ら 通 信

冬号

2015.2月

議会報告

Shall we 投票

豆知識～群馬県交通安全条例が制定されました

図書広報委員会・県外調査報告

2015(平成27)年度群馬県予算への提言

小川あきら 4年間の取り組み

群馬県議会議員 リベラル群馬



ご挨拶 2015年 冬

早いもので、私の県議会の任期も残りわずかとなりました。それは同時に、あの大震災と原発事故からまもなく4年が経つということを示しています。

もうずいぶん前のことのように思う方もいるかもしれませんが、現在も避難生活を余儀なくされている人は20万人を超え、被災された方にとっては現在形で続いている災害です。

今年は戦後70年目を迎えます。戦争の悲劇を繰り返さないようにと、70年にわたって毎年8月15日に祈りをささげてきたように、大震災の記憶も決して忘れてはならないのだと思います。

地域に目を向ければ、少子高齢化にともなう人口減少の問題や、厳しい地方財政の問題、広がる格差やエネルギー問題など、たくさんの課題が山積しています。

地域の課題を解決するために、議会の中でも、教育や児童虐待の問題、DV・ストーカー対策など女性に対する支援について、介護や医療のスタッフの確保について、買い物弱者支援、コンベンションセンターの建設問題など、様々な課題に取り組んできました。

その際、常に考えていたのは、「縮小の時代にどう生きるか」です。高度成長期をとうに過ぎて成熟しきったこの国は、これから先、人口減少の社会を迎えます。

群馬県の人口も30年後には160万人くらいに減ってしまうといわれています。

社会保障費の負担は増える一方で、人も経済も縮小していく。

「あれもこれも」から、「これだけは」の選択が求められています。ノーベル平和賞で話題になったパキスタンの少女は、「一本のペン、一冊の本で世界を変えることができる」と訴えました。

私たちも、教育や平和、地域や子供たちの未来について真剣に向き合っていかなければならないのだと思います。

2015年度も、多くの人と手をつなぎあって、希望を描き、未来を創っていききたいと思います。

群馬県議会議員 小川あきら



(干支だるま) ひつじ年



群馬県新春交流会



東公民館文化祭



交差点で朝のご挨拶

2015(平成27)年度群馬県予算への提言 I・II

リベラル群馬としての最重要課題を4項目、23要望に絞り込み、知事に提出しました。

I 県独自の経済活性化及び雇用対策への提言

1. 「群馬の未来創生本部の骨太方針」として、以下の施策を市町村との連携を強めながら推進することを要望します。
 - ①若者・女性の雇用と所得を確保するためのジョブカフェぐんま等の施策強化、および若者・子どもが定住できる環境の創出。
 - ②過疎山村地域の雇用と所得の確保、定住環境の創出のため、農林業の6次産業化や再生可能エネルギー、観光など地域資源を活かした産業の創出。
2. 再生可能エネルギー導入推進にあたっては、太陽光発電の接続制限の解除を国に強く要望するとともに、地域経済への波及効果が高いながらも導入が依然不十分なバイオマス、小水力発電の推進に重点をシフトするよう要望します。
3. 企業の障がい者雇用率について、全国平均を下回っている現状を打開するとの目標を掲げていることから、障がい者雇用に取り組む企業等に対する県独自のインセンティブ策を講じるなど、他県を上回る対策を要望します。
4. 円安による県内中小企業への原材料・燃料等の価格高騰の影響が深刻化していることから、神奈川県県の「円安・原材料価格高騰対策等緊急融資」のように、県独自の支援制度を創設するよう要望します。
5. 指定管理者制度については、H18年度の導入以降、様々な問題点が明らかになってきたことから、下記の視点による制度の再検討を行うよう要望します。
 - ①社会福祉施設など、指定管理者制度になじまない公共施設への導入の再検討。
 - ②高評価の指定管理者を再指定する仕組みや指定期間の延長など、安定的な運営を確保するための制度改善。
 - ③指定管理者が交代した場合の雇用継続の配慮義務の徹底や、労働条件モニタリングの強化など、サービス水準、労働環境の安定を図る制度改善。

II 安全安心な暮らしへの提言

1. 子宮頸がんワクチンの副反応について、市町村と協力して実態調査を行うとともに、教育委員会・健康福祉部が連携して児童・生徒に寄り添った対応および被害者の救済措置に万全を期すことを要望します。
2. 群馬県健康増進計画の中で推進方針を打ち出しているフッ化物塗布・洗口については、国のガイドラインにとらわれず、県民への公平な情報提供と保護者の同意について慎重に行うよう要望します。
3. 一時的に保管をしている放射能指定廃棄物について、早急

に当該市町村長会議を開催し、環境省との交渉においては、県民視点でその解決に当たることを要望します。また、現行のフレコンバッグによる保管については劣化が心配されることから適正な管理をするよう要望します。

4. 放射能被害で大きな被害を受けている原木しいたけ農家に対する県の支援を強化するよう要望します。
5. 東日本大震災の教訓を生かし、有事における危機管理体制を構築・推進するとともに、市町村との連携強化を図ることを要望します。また、浅間山については、いつ爆発してもおかしくない状況に鑑み、住民の避難、救助、避難施設などの危機管理体制を強化するよう要望します。更に、県内の自主防災組織の確立は急務であると同時に、既存の自主防災会の機能を高めるための支援を要望します。
6. すべての障がい者に対する人権の尊厳を確保する具体的な施策の展開を行うとともに、企業との連携による就労支援、市町村との連携による「障がいをもつても地域で安心して暮らせるまちづくり」を推進することを強く要請します。更に、家族による在宅介護の限界を認識して介護施設、養護施設の拡充を図るよう要望します。
7. 市町村におけるDV対策基本計画の策定及び配偶者暴力相談支援センターの設置が進むように、市町村への支援および市町村と連携した取り組みを行うことを要望します。また、警察や弁護士会、DV被害者支援団体など民間を含めた関係機関との連携を深め、一時保護だけでなく、民間ホテルへの緊急避難や自立のための支援など、被害者に寄り添った支援を行うことを要望します。デートDVなど被害の低年齢化に対応するため、教育現場との連携による取り組みを進めることを要望します。
8. 「健康寿命日本一」を目指し、高齢者の活躍機会の拡大、生活習慣病等の予防、健康診断の受診率向上の取り組みを強化することを要望します。
9. 児童福祉施設(児童相談所・児童自立支援施設等)の充実を図るため、職員配置基準のさらなる改善を行うとともに、必要な財源措置を講じることを要望します。とりわけ児童虐待事案が増加している現状に鑑み、児童相談所における人員体制の強化については、人口に基づく職員配置基準ではなく、職員一人当たりの担当相談数を基準とするなど、見直しを行うことを要望します。



Ⅲ 社会基盤づくりへの提言

1. 公共交通網整備は、絹産業遺産群等の観光資源の周遊、および「まちづくりビジョン」が目指すコンパクトな都市づくりに不可欠なインフラであることから、施策の経済波及効果等を再評価し、整備予算を増額することを要望します。
2. 道路整備の在り方について、既存の道路等インフラの維持管理・更新を先送りすることなく最優先に予算配分を行うよう要望します。
3. 国際戦略の柱の一つである外国人観光誘客を促進するとともに、災害時の安否確認や連絡手段を確保するため、観光地や避難所、県有施設などにおける公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備・推進するよう要望します。

Ⅳ その他重要課題に対する要望事項

1. 高崎競馬場跡地におけるコンベンション施設建設計画にあたっては、採算性の根拠、関連事業を含めた全体事業費、後年の維持管理コストなど、事業実施の可否判断のために重要な情報を県民に示したうえで、アンケート調査

等、広く県民意見を聴取するなど、開かれた計画検討を行うよう要望します。

2. 雪害による復旧に全力を挙げるとともに、その間の無収入農家への支援を要望します。
3. 交通安全条例が施行されることにより、悲惨な交通事故を無くすための「交通安全教育」を、市町村や関係機関との連携をとり、全世代にわたって徹底することを要望します。また、自転車事故の急増に伴い賠償額が高騰していることから、保険等への積極的な加入運動を進めることを要望します。
4. 農振除外の許可手続きの長期化が大きな問題となっていることから、手続きの迅速化を強く要望します。
5. 動物愛護施策については、殺処分ゼロを目標にした体制づくりを行うとともに、NPOやボランティアなどとの連携を進め、県民総ぐるみの活動を展開するよう要望します。また、警察との連携を強化し、動物遺棄事件等には厳正に対処するとともに、未然防止の取り組みを行うことを求めます。
6. 県立図書館の資料購入費は7年連続で減少を続けており、全国の都道府県立図書館と比較しても非常に低い状況です。県内には、図書館未設置の自治体が12町村あり、こうした自治体を支援する役割も担っていることから、資料購入費の増額を要望いたします。

小川あきら

4年間の取り組み

1 平成23年度

県議会での活動スタート! 3月に発生した東日本大震災による本件の被害回復と防災対策の見直しに取り組みました。被災地を実際に訪問し、ボランティアや防災対策調査を行いました。また、女性の視点から多くの課題を取り上げ、女性が活躍できる社会に向け取り組みました。

一般質問

- 男女共同参画の推進について ●女性相談センターの移転問題について
- 旧保育大学校の跡地利用と保管物質の活用について
- 危機管理と知事公舎のあり方について ●買い物弱者支援について

2 平成24年度

議会基本条例や群馬県水源地域保全条例など大きな条例が多数制定され、ぐんまみどりの県民税に関する議論も1年かけて行いました。また、関越自動車道のバス事故を契機に通学路や主要道路の安全の見直しを実施。個人的にはカーブミラー清掃や滝川清掃などの地域活動、スペシャルオリンピックスの支援、青年会議所活動など、民間活動にも力を入れた1年でした。

一般質問

- 若者の投票率向上について ●女性に対する支援について
- 産廃問題について ●Facebookを利用した観光誘客について

3 平成25年度

女子児童・生徒に重篤な後遺症を残す子宮頸がんのワクチン問題について、実態調査と被害者に寄り添った支援に取り組みました。県内には20人の被害報告が上がっています。引き続いての視点が必要です。また、地方財政が厳しい中でのコンベンション施設の建設計画が浮上。各地の施設を実際に調査し、需要調査の甘さを指摘し、既存施設の利用について検討を求めました。

一般質問

- コンベンション施設の建設について ●子宮頸がんワクチンの接種について
- ぐんま Wi-Fi プロジェクトについて ●道州制について
- 利根川自転車道の整備について

4 平成26年度

人口減少による地方消滅(日本創世会議)の発表により、群馬県でも人口減少対策に乗り出しました。人口減少が大きなテーマとなる中、虐待死を生じさせないための児童虐待対策の充実や、介護サービスの向上とともに雇用の確保につながる介護現場の処遇改善について訴えました。

一般質問

- 性犯罪・性暴力被害ワンストップ支援センターの設置について
- DV被害者支援と市町村との連携について ●人口減少問題について
- 児童虐待について ●要介護度の改善を評価する仕組みについて

議会報告

第3回後期定例会が11月25日から12月15日までの間で開催されました。今議会では、医療・介護サービスの提供体制を充実・強化するための基金の創設など43億7687万円の増額を行う一般会計補正予算のほか、群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例、群馬県交通安全条例、JAグループの自己改革を尊重した農業改革を求める意見書などを可決しました。

群馬県交通安全条例が 制定されました

県議会の豆知識



群馬県は、人口当たりの交通事故発生件数が依然として高く、初心者の事故率は全国ワーストを記録している県内の交通事故を撲滅するため、交通安全に関する県の責務や市町村・県民の役割、交通安全教育の推進、交通環境の整備などを定め、交通安全県・群馬を目指します。また、自転車による事故も増えているので自転車保険の加入をお勧めします。

Shall we 投票?

2014年12月14日執行

衆議院議員選挙の投票率!

前橋市全体の投票率 50.22%

東地区ではどうだったでしょうか?

- 東市民サービスセンター 38.98%
- 東小 36.47%
- 箱田中 39.98%
- 新田小 39.10%
- 東中 38.09%
- 大利根小 49.23%

お知らせ

群馬県議会議員選挙2015年4月12日投票

図書広報委員会・県外調査報告

2014年11月11日~12日

図書広報委員会の県外調査で岩手県と宮城県にお邪魔しました。図書広報委員会は主に県議会だよりを作成したり、議会の情報発信をしている委員会です。今回は、以前から気になっていた議会だよりの配布方法と、議事録の公開について注目して調査をしました。というのも、議会だよりについては、群馬県では新聞折り込みの方法をとっていますが、新聞を購読していない家庭には届かないことや、逆に複数誌購読している家庭には何部も届いてしまうという問題があり、市民の方からも「もっと良い方法がないの?」という声をよく聞くからです。また議事録の公開については、会派でずっと「委員会議事録も公開するべきだ!」と要望しています。他県の状況はどうなっているのでしょうか?

まず、岩手県議会では、議会だよりを市町村に委託して全戸配布しているそうです。(図1)

一方の宮城県議会では、新聞掲載の形で県内の60%の世帯に配布しているとのこと。新聞記事の形で読みやすく編集されています。(図2) 県政だよりを隔月で全戸配布しており、それと合わせて全戸配布することも検討されているそうです。

群馬県でも、市町村の広報や議会だよりは全戸配布されているので、それと合わせて配布できれば、より多くの県民に県政を知ってもらい関心を持ってもらうことができると思います。

今の新聞折り込みの形だと、新聞を購読している家庭には配布さ

れますが、そうでない家庭には広報を見る機会がほとんどなくなってしまいますよね。

また、会議録の公開について、宮城県では、県民の皆さんが広く閲覧できるように公開内容を拡充し、常任委員会や特別委員会の議事録も閲覧できるようになっています。音声変換システムを導入したり、テープ起こしを外注するなどして、議会事務局の負担も減らしているとのこと。議事録の公開は県民の皆様、議会での審議状況を知らせるための第一歩。いちいち情報公開制度を利用しないと委員会議事録が取得できないというのは、開かれた議会からはかなり遅れていると思います。できるだけ簡単に多くの情報にアクセスできるようにしていきたいですね。群馬県の議会改革も、まだまだやれることがたくさんあります!



(図1) いわて県議会だより



(図2) みやぎ県議会だより

活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 10月 25日 大利根小PTAバザー
- 10月 26日 東地区グラウンドゴルフ大会
- 10月 27日 群馬県華道展
- 10月 29日 決算特別委員会
- 11月 1日 前箱田町・町制60周年記念式典
- 11月 2日 前箱田町文化祭
- 11月 4日 決算特別委員会
- 11月 5日 群馬女性議員政策会議
- 11月 8日 前橋市農業まつり、東公民館文化祭
- 11月 10日 熊野神社西の市、小川あきら県政報告会
- 11月11~12日 図書広報委員会県外調査
- 11月 13日 東小学校140周年記念式典
- 11月 15日 昌賢学園文化祭、ウーマン政経フォーラム設立記念講演
- 11月 16日 宮崎タケシさん再出発の集い
- 11月 17日 厩衛会総会
- 11月 18日 ぐんまコンベンションフォーラム
- 11月 20日 一期生議員研修(自衛隊相馬原駐屯地)
- 11月 23日 Mサボクリーン活動
- 11月 25日 本会議
- 11月 26日 白門会前橋支部総会
- 11月 28日 一般質問
- 12月 1日 一般質問、富士見・芳賀地区座談会
- 12月 2日 衆議院議員選挙公示
- 12月 3日 一般質問
- 12月 5日 図書広報委員会、常任委員会
- 12月 6日 海江田万里代表来県
- 12月 7日 前箱田町、西箱田町お餅つき、弁護士会憲法パレード、
「やっぱ、選挙わからん党」ミーティング
- 12月 8日 常任委員会、農政懇談会
- 12月 9日 前橋青年会議所臨時総会
- 12月 10日 特別委員会
- 12月 11日 宮崎タケシ総決起集会
- 12月 12日 議員団会議
- 12月 13日 前橋青年会議所卒業例会
- 12月 14日 衆議院議員選挙投票日、昭和の前橋展
- 12月 15日 本会議(閉会)
- 12月 17日 農業経営士会・農村経営アドバイザーとの意見交換会
- 12月 18日 前橋東ロータリークリスマス例会
- 12月 21日 連合議員懇談会
- 12月 24日 知事要望
- 12月28~30日 消防団歳末特別警戒激励
- 12月 31日 飯玉神社、雷電神社
- 1月 1日 前箱田町互礼会、古市町互礼会
- 1月 6日 群馬県新春交流会、上毛新聞交歓会
- 1月 7日 前橋商工会議所新年互礼会
- 1月 9日 前橋初市まつり
- 1月 10日 前橋市消防団出初式、やまびこハイキング新年会
- 1月 11日 前箱田町、他各町どんと焼き
- 1月 12日 古市町、他各町どんと焼き
- 1月 14日 前橋JC1月第1例会
- 1月 17日 前橋東部商工会新年互礼会
- 1月 18日 小川あきらを励ます新春のつどい



BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



県政報告会を開催しました。

投稿日: 2014年11月10日

昨日の県政報告会には多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございます。500人規模の報告会は初めてで、準備や声掛けが十分にできなかった部分もありましたが、何とか無事に終了。第一部で、県議会での活動報告、第二部では、5名のパネリストをお招きし、各方面から話題を提供していただきました。集まっていた皆さんに、少しでも社会の課題や政治にできることを身近に感じてもらえるように考えた設えです。政治離れや無関心というふうにいわれますが、文句を言ったり批評しているだけでは何も変わりません。自分たちの住む地域をどんな地域にしていきたいのか。子供たちにどんな未来を残していきたいのか。今後も皆さんとともに考えて、議論して、そして行動していきたいと思っています。

コンベンションフォーラムが開催されました。

投稿日: 2014年11月18日

県主催のコンベンションフォーラムが開催されました。第一部では、経済ジャーナリストの財部誠一氏の講演、第2部では、高崎商工会議所会頭、前橋青年会議所理事長、トレードショーオーガナイザーズ、コングレによるパネルディスカッションが行われ、「コンベンションを行うと群馬がこれだけ変わる!」というようなテーマで話し合いが行われました。以前から指摘をしているように、国際会議の誘致や展示会の立ち上げができれば、それだけ群馬県に人が集まるので、交流人口が増加したり、経済

波及効果が生じるのは当然で、問題は、全国各地の地方都市で30年以上前からコンベンション施設を建設して同じような道を行んでいるものの、どこも苦戦しているという現実をどうとらえるかだと思います。日本で開催される国際会議の件数が年々伸びているから、群馬県でも誘致できるはずだ、という人もいますが、群馬県よりも東京から遠くて、小さな施設しかなくても、多くの国際会議を誘致できている県もあれば、施設が素晴らしくても誘致できていない県もある。「なぜ、群馬を選ぶのか。」「どうしたら群馬が選ばれるのか。」「そこをもっと真剣に、慎重に考える必要があります。『東京から新幹線で1時間』というのはこれだけ交通の便が良くなった時代に大きな強みとはいえません。他県の施設よりも、『立派なハコをつくらばいい』というものでもありません。現実的には、住宅地の中の10ヘクタールの土地では、大々的にも環境的にも難しい立地です。280億円以上の建設コストと毎年5億円以上の維持管理費が一生涯かかるコンベンション施設。オープンな県民議論が必要です。

朝のクリーン活動に参加しました。

投稿日: 2014年11月23日

今日は朝からMサボのクリーン活動に参加。約60人のボランティアが参加し、元氣21周辺のゴミ拾いをしました。私はちびっこ隊員と一緒にたばこの吸い殻を徹底退治! 「たばこは大人しか吸わないのに、大人がゴミを捨てての?」子どもたちにそんな疑問を抱かせないように街にしていきたいですね。

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(リベラル群馬)。都市計画審議会。前工団委員。2013年度は厚生文化委員会、社会基盤づくり特別委員会に所属。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?!



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

